

【DX導入・運用段階における必要スキル参照ツール】

県内企業等でDXを進めていく中、今後従業員が必要になるスキルを把握するためにご活用ください。  
「詳しく見る」をクリックすると該当ページへ移動します

		< 区 分 >			
		一般従業員	リーダー・管理職		
経営・管理部門	戦略	経営・取締役会	<a href="#">詳しく見る (p. 3)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 41)</a>	
		経営企画	<a href="#">詳しく見る (p. 5)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 43)</a>	
	管理	経理・財務	<a href="#">詳しく見る (p. 7)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 45)</a>	
		人事	<a href="#">詳しく見る (p. 9)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 47)</a>	
		法務・総務	<a href="#">詳しく見る (p. 11)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 49)</a>	
		広報・IR	<a href="#">詳しく見る (p. 13)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 51)</a>	
		リスクマネジメント・セキュリティ	<a href="#">詳しく見る (p. 15)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 53)</a>	
情報システム	<a href="#">詳しく見る (p. 17)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 55)</a>			
事業部門	製造業	研究・開発	<a href="#">詳しく見る (p. 19)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 57)</a>	
		事業	製品企画	<a href="#">詳しく見る (p. 21)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 59)</a>
			購買・調達生産管理	<a href="#">詳しく見る (p. 23)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 61)</a>
			生産・製造	<a href="#">詳しく見る (p. 25)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 63)</a>
			品質管理	<a href="#">詳しく見る (p. 27)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 65)</a>
			物流・配送	<a href="#">詳しく見る (p. 29)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 67)</a>
			営業・サービス	<a href="#">詳しく見る (p. 31)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 69)</a>
	製造に関連するその他部門 (建設、インフラ管理)	<a href="#">詳しく見る (p. 33)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 71)</a>		
	非製造業	事業	営業事務 (購買・調達・経理)	<a href="#">詳しく見る (p. 35)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 73)</a>
			企画営業・販売	<a href="#">詳しく見る (p. 37)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 75)</a>
サービス企画・提供			<a href="#">詳しく見る (p. 39)</a>	<a href="#">詳しく見る (p. 77)</a>	

※「[リスキリング推進ガイドライン](#) 附属資料2：スキル整理表」を参考に作成しました。

## 【ページの見方】

一覧(p.1)へ  
戻ります

区分／担当部門・業務 が  
合っているかを確認してください

1/2 が 1 ページ目  
2/2 が 2 ページ目です

1 / 2

区分	担当部門・業務
一般従業員	経営企画

【1. 想定される職務の変化】  
自らの業務においてどんなDXが起きているか把握しましょう

財務情報のリアルタイム把握、BIツール（集計・可視化ツール）を活用した効率的な経営指標の把握、市場将来予測

【2. 具体的なデータ・ツール】  
自らの業務においてDX化に必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	財務情報
ツール例	需要予測ソフト等 Office(Excel, Word, PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom, Teams, Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams, Slack, LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・ Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

社内外のデータを用いたリサーチを実施し事業計画等を策定することができる

5

2 / 2

一覧に戻る

AI データ解析	<ul style="list-style-type: none"> <li>データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>データの性質を理解するために、データを可視化し続けて考えることの重要性を理解している</li> <li>目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>AIを活用して実施可能なこと、そうでないことを理解できる</li> <li>AIの活用しその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘察し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係のトラブルを起さずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

6

1. 想定される職務の変化  
2. 具体的なデータ・ツール  
3. 求める人材像  
を確認できます

カテゴリー別に  
どのようなスキル等が必要に  
なるのかを確認できます

区分	担当部門・業務
一般従業員	経営・取締役会

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

世界的な経済社会潮流、AI を活用した需要予測・マーケットシェア等の予測

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	財務情報、競合他社等の財務情報他
ツール例	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

データ解析・ AI	
クラウド	
ハードウェア	
ソフトウェア	
ネットワーク	
セキュリティ	
モラル	
コンプライアンス	

区分	担当部門・業務
一般従業員	経営企画

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

財務情報のリアルタイム把握、BI ツール（集計・可視化ツール）を活用した効率的な経営指標の把握、市場将来予測

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	財務情報
ツール例	需要予測ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（一般従業員）**

社内外のデータを用いたリサーチを実施し事業計画等を策定することができる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	経理・財務

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI-OCR や RPA を活用した伝票起票業務

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	経費伝票情報
ツール例	会計ツール (freee/弥生等)
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(一般従業員)

経理・財務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>



区分	担当部門・業務
一般従業員	人事

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

タレントマネジメントシステムを活用した人事考課・人事異動、求人媒体サービス（データ）の活用

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	従業員の職歴や知識・スキル、資格情報
ツール例	タレントマネジメントシステム、採用管理ツール Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（一般従業員）**

人事に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	法務・総務

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

電子契約書、契約書の自動レビュー・自動作成、知財管理・活用
-------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	契約書情報、知財情報
ツール例	リーガルテック
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(一般従業員)

法務・総務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる
--------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	広報・IR

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

ソーシャルメディア活用、自社サイトでの SEO（検索エンジン最適化）活用

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	公式サイト閲覧情報
ツール例	CMS（コンテンツ管理システム）、ソーシャルメディア
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

広報等に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	リスクマネジメント・セキュリティ

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI 等の活用によるサーバー等の脆弱性やサイバー攻撃への対応

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	サーバー等へのアクセスデータ、ヒヤリハット情報
ツール例	リスクマネジメントツール、将来予測システム（リスク予兆） Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（一般従業員）**

リスク等に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてセキュリティに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてモラルに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてコンプライアンスに関する相談に乗ることができる</li> </ul>



区分	担当部門・業務
一般従業員	情報システム

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

データ統合基盤システム
-------------

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	システムアクセス情報
ツール例	データ統合基盤システム
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】(一般従業員)**

情報システムに関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる
---------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてクラウドに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてハードウェアに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてソフトウェアに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてネットワークに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてセキュリティに関する相談に乗ることができる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	研究・開発

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

MBD での設計、メタバース・デジタルツイン空間での実証

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	研究開発データ（実証・試作結果など）
ツール例	各種設計ソフト（MBD、3D CAD など）、研究開発データ・製品データ管理ソフト（クラウド等） Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・ Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

研究・開発に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	製品企画

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI を活用したマーケティング（顧客ニーズの適切な把握）

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製品データ（スペック情報）
ツール例	各種設計ソフト（MBD、3D CAD など）、研究開発データ・製品データ管理ソフト（クラウド等）
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

製品企画に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	購買・調達生産管理

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

PDM（製品情報管理システム）やクラウド等による在庫管理
------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	原材料調達情報、製品ニーズデータ
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

購買・調達・生産管理に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる
-------------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>



区分	担当部門・業務
一般従業員	生産・製造

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

RPA や 3D プリンターによる自動生産
-----------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製造データ（個数・所要時間など）
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等 Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

生産・製造に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる
--------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	品質管理

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI 活用によるデジタルトレーサビリティの確保、人間では気づかない異常の発見

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	品質データ、検査履歴（不良品割合など）
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

品質管理に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	物流・配送

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI による運送ルート・積載計画の最適化

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	車両スペック、荷物データ、走行履歴
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】(一般従業員)**

物流・配送に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	営業・サービス

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

メタバース空間でのパートナー・顧客との共創活動

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	取引相手の連絡先（名刺データ）
ツール例	サービス・アプリ Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

営業・サービスに関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>



区分	担当部門・業務
一般従業員	製造に関連するその他部門（建設、インフラ管理）

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<p>ロボット・ドローン等を活用した自動での修繕・遠隔管理</p>
-----------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製造設備等インフラ点検履歴
ツール例	3次元設計モデル（BIM/CIM）
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

<p>関連するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる</p>
----------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	営業事務（購買・調達・経理）

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI による需要予測、ダイナミックプライシング

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	RFID、POS データ
ツール例	需要予測ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（一般従業員）

営業事務に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 2-3 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AI を活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AI の活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	企画営業・販売

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業接客ツールを用いた遠隔営業、ソフトを用いた営業予約と情報共有</li> <li>・ チャット bot や SNS を用いた販促、顧客情報解析</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	顧客属性や購入履歴
ツール例	営業管理ソフト、SNS (LINE/X (旧 Twitter) /Instagram 等)
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール (Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール (Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ (GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール (ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】 (一般従業員)

企画営業・販売に関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる
----------------------------------

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>

区分	担当部門・業務
一般従業員	サービス企画・提供

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

対人（介護・接客）ロボットの活用、各種サービスを補助するアプリの活用（観光ルートやスポット推薦）等により、新しいターゲットや価値を生み出す

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	介護者の離床時間、観光ルート履歴、サービス利用履歴
ツール例	サービス・アプリ Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（一般従業員）**

サービスに関するソフトウェアを用いて自らの業務を遂行できる

<p>AI データ解析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し2-3枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・数十件程度のデータからグラフを作成できる</li> <li>・データの性質を理解するために、データを可視化し眺めて考えることの重要性を理解している</li> <li>・目的に応じた集計を実施し、データから知見を見出すことができる</li> <li>・ニュース記事などで統計情報に接したときに、数字やグラフの持つメッセージを理解できる</li> <li>・AIを活用して実施可能なことと、そうでないことを理解できる</li> <li>・AIの活用の際にその結果の妥当性を領域の知識等に基づき判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Botの悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と論理を身につけている</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる</li> </ul>



区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	経営・取締役会

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

世界的な経済社会潮流、AI を活用した需要予測・マーケットシェア等の予測
--------------------------------------

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	財務情報、競合他社等の財務情報他
ツール例	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】(リーダー・管理職)**

経営・取締役会としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
--------------------------------------------

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	経営企画

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

財務情報のリアルタイム把握、BI ツール（集計・可視化ツール）を活用した効率的な経営指標の把握、市場将来予測

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	財務情報
ツール例	需要予測ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

経営企画としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	経理・財務

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI-OCR や RPA を活用した伝票起票業務
--------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	経費伝票情報
ツール例	会計ツール (freee/弥生等)
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(リーダー・管理職)

経理・財務としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
------------------------------------------

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	人事

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<p>タレントマネジメントシステムを活用した人事考課・人事異動、求人媒体サービス（データ）の活用</p>
------------------------------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	従業員の職歴や知識・スキル、資格情報
ツール例	タレントマネジメントシステム、採用管理ツール
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

<p>人事としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる</p>
----------------------------------------------

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>



区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	法務・総務

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

電子契約書、契約書の自動レビュー・自動作成、知財管理・活用

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	契約書情報、知財情報
ツール例	リーガルテック Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(リーダー・管理職)

法務・総務としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	広報・IR

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<p>ソーシャルメディア活用、自社サイトでの SEO（検索エンジン最適化）活用</p>
---------------------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	公式サイト閲覧情報
ツール例	CMS（コンテンツ管理システム）、ソーシャルメディア
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

<p>広報・IR としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる</p>
--------------------------------------------------

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	リスクマネジメント・セキュリティ

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI 等の活用によるサーバー等の脆弱性やサイバー攻撃への対応
--------------------------------

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	サーバ等へのアクセスデータ、ヒヤリハット情報
ツール例	リスクマネジメントツール、将来予測システム（リスク予兆） Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）**

リスクマネジメント・セキュリティとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
-----------------------------------------------------

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてセキュリティの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてモラルの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてコンプライアンスの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	情報システム

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

データ統合基盤システム
-------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	システムアクセス情報
ツール例	データ統合基盤システム
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(リーダー・管理職)

情報システムとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
-------------------------------------------

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてクラウドの技術面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてハードウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてソフトウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてネットワークの技術面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内にてセキュリティの技術面について全社的な検討・相談をすることができる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>



区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	研究・開発

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<p>MBD での設計、メタバース・デジタルツイン空間での実証</p>
-------------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	<p>研究開発データ（実証・試作結果など）</p>
ツール例	<p>各種設計ソフト（MBD、3D CAD など）、研究開発データ・製品データ管理ソフト（クラウド等） Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)</p>

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

<p>研究・開発としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる</p>
-------------------------------------------------

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	製品企画

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI を活用したマーケティング（顧客ニーズの適切な把握）

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製品データ（スペック情報）
ツール例	各種設計ソフト（MBD、3D CAD など）、研究開発データ・製品データ管理ソフト（クラウド等）
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

製品企画としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	購買・調達生産管理

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

PDM（製品情報管理システム）やクラウド等による在庫管理

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	原材料調達情報、製品ニーズデータ
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

購買・調達生産管理としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	生産・製造

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

RPA や 3D プリンターによる自動生産
-----------------------

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製造データ（個数・所要時間など）
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）**

生産・製造としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
------------------------------------------

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>



区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	品質管理

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI 活用によるデジタルトレーサビリティの確保、人間では気づかない異常の発見

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	品質データ、検査履歴（不良品割合など）
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等 Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、 オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

品質管理としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	物流・配送

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI による運送ルート・積載計画の最適化

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	車両スペック、荷物データ、走行履歴
ツール例	需要予測・生産管理ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】(リーダー・管理職)

物流・配送としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	営業・サービス

**【1. 想定される職務の変化】**

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

メタバース空間でのパートナー・顧客との共創活動

**【2. 具体的なデータ・ツール】**

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	取引相手の連絡先（名刺データ）
ツール例	サービス・アプリ
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

**【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）**

営業・サービスとしてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる （詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照）</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	製造に関連するその他部門（建設、インフラ管理）

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<p>ロボット・ドローン等を活用した自動での修繕・遠隔管理</p>
-----------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	製造設備等インフラ点検履歴
ツール例	3次元設計モデル（BIM/CIM）
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

<p>その他部門としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる</p>
-------------------------------------------------

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>



区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	営業事務（購買・調達・経理）

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

AI による需要予測、ダイナミックプライシング

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	RFID、POS データ
ツール例	需要予測ソフト等
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

営業事務（購買・調達・経理）としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	企画営業・販売

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業接客ツールを用いた遠隔営業、ソフトを用いた営業予約と情報共有</li> <li>・ チャット bot や SNS を用いた販促、顧客情報解析</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	顧客属性や購入履歴
ツール例	営業管理ソフト、SNS (LINE/X (旧 Twitter) /Instagram 等)
	Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール (Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール (Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ (GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール (ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】 (リーダー・管理職)

企画営業・販売としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる
--------------------------------------------

データ解析 AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>

区分	担当部門・業務
リーダー・管理職	サービス企画・提供

【1. 想定される職務の変化】

自らの業務においてどんな DX が起きているか把握しましょう

対人（介護・接客）ロボットの活用、各種サービスを補助するアプリの活用（観光ルートやスポット推薦）等により、新しいターゲットや価値を生み出す

【2. 具体的なデータ・ツール】

自らの業務において DX 化で必要なデータを把握し、ツールも活用していきましょう

データ	介護者の離床時間、観光ルート履歴、サービス利用履歴
ツール例	サービス・アプリ Office(Excel、Word、PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom、Teams、Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams、Slack、LINEWORKS)、仮想ドライブ(GoogleDrive・Dropbox)、その他汎用的な新技術やツール(ChatGPT 等)

【3. 求める人材像】（リーダー・管理職）

サービス企画・提供としてツールを用いたリスク管理、業務指示および組織マネジメントができる

<p>データ解析 AI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを集計し 10 枚程度の集計レポートを作成できる</li> <li>・集計レポート作成等のため、初歩的なデータの集計方法について指示を出せる</li> <li>・自らの業務に近い領域において AI の活用可能性（どのようなサービスに使われているか）を知り、適切に活用されているか判断できる</li> </ul>
<p>クラウド</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる</li> </ul>
<p>ハードウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる</li> <li>・タブレットを用いた簡単な操作（動画の再生、ブラウザの利用等）ができ、適切な活用方法について指示を出せる</li> </ul>
<p>ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアの選定をできる</li> </ul>
<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi、無線 LAN、VPN 等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し（e-learning 等で着実に理解）、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる</li> <li>・データ、AI、機械学習の意図的な悪用（フェイクニュース、Bot の悪用など）があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへの対応できる</li> </ul>
<p>モラル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる</li> <li>・捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる</li> </ul>
<p>コンプライアンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他社を巻き込み部署や全社で DX を推進するための役割を担うことができる (詳細は DX 推進人材等に求めるスキル参照)</li> </ul>